

## 環境教育・環境学習の推進

～市民のライフスタイルの改革に向けた取組の推進～

【目標：環境教育・環境学習の場や機会の充実、人材育成等の基盤整備を目指す】

## ●幼児環境教育プログラムの作成●



環境問題は、地球温暖化、ごみ、緑、大気、土壌、水など幅広い分野にわたり、市民生活に非常に身近な問題でもあります。これらの問題の解決に向けては、市民一人ひとりの価値観やライフスタイルと深く関わっていることから、環境に配慮した行動の環を広げていく必要があります。

川崎市では、次世代を担う幼児を対象として、自然にふれ、自然に親しみ、自然につながる環境教育を通じて、環境を大切に思う心を育てることを目的とした環境教育プログラム「つながりたのしむ あそび集」を社団法人川崎市幼稚園協会と協力して作成しました。

プログラムは子どもたちが自分の周りにある環境との関わりを感じることができるよう幼稚園内・外での様々な場面を想定した33のプログラムで構成されています。

川崎市と川崎市幼稚園協会では、このプログラムを市内全私立幼稚園（85園）に配付し、各園での環境教育に活用しています。

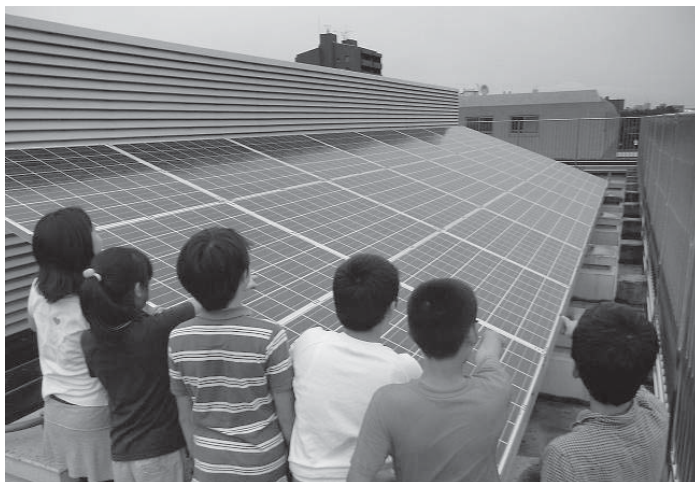
## ●井田小学校が「かながわ新エネルギー賞」を受賞●

川崎市立井田小学校が神奈川県内において太陽光発電、風力発電等の新エネルギーの導入に関しての優れた取組として表彰されました（受賞者は井田小学校 50周年記念事業実行委員会、同小学校PTA、同小学校）。

受賞理由は、井田小学校が学校創立50周年を記念して、校舎の屋上に太陽光発電を設置した際、市町村等の補助金を使わずに、PTAによる廃品回収活動や児童の委員会によるアルミ缶回収活動の収益により独自で設置したことが高く評価されたものです。

現在、井田小学校には24枚（2.88kW）の太陽光パネルが設置され、発電された電力は学校で使用する電力の一部に利用されています。

今後も30枚までの太陽光パネルの設置に向けて児童、PTA、地域が協力して取り組んでいきます。



## ●大師河原に環境教育の拠点が開設●

平成19年12月、多摩川の大師河原の河川敷に国土交通省が災害時における地域防災活動の拠点として整備を進めてきた「大師河原河川防災ステーション水防センター」が完成しました。

この施設は、災害時には応急復旧の基地となりますが、平常時の活用として市が施設の一部を借り受けて、防災に関する展示と多摩川に関する自然や周辺の歴史等についての情報提供・展示及びこれらの目的を実施するための会議室や展示場を備えた施設として活用されます。

大師河原周辺は、多摩川河口域における貴重な自然環境が残された地域です。現在、地域の方々を中心となって運営委員会を設置しており、今後、本施設を拠点に環境教育等の活動を進めていく予定です。

